

科目名	担当教員名	学期
ビジネスアカウンティング Business Accounting	小関 誠三	冬季 集中
目的	財務諸表の作成ないし利用のための基本的な会計概念や経営指標を、各社の公表財務諸表の分析を通じて習得することを目的とする。	
概要	経営指標は財務諸表から得られるデータの相互関係から算出されるものであり、財務諸表がどのように作成されるのかを理解しておく必要がある。したがって、まず受講生の関心に基づいて、特定の会社の財務諸表を各社のホームページ、EDINET などから入手し、当該会社の財務諸表の作成手法を理解する。これを受けて、つぎに財務諸表の構成要素ごとに業績判断をするための伝統的な経営指標の意味を理解する。なお、IFRSs（国際財務報告基準）を任意適用する企業が増加しており、当該企業の財務指標に及ぼされる影響についても言及する予定である。	
到達目標	財務諸表の作成原理ならびに業績評価を行うための基本的な経営指標の意味を理解するとともに、財務諸表の分析結果を効果的なプレゼンテーションに結び付けることができること。	
成績評価の基準と方法	授業への参加・貢献度：15% プレゼンテーション：25% 課題・最終理解度チェック：60% なお、授業への出席を前提として授業への貢献があることを銘記されたい。	
履修条件	基本的な会計関連諸科目を修得済みであること。	
<b>授業計画</b>		
第1日	☆イントロダクション—財務諸表の開示制度と意義— ・財務諸表の構成 ・財務諸表の作成原理	
第2日	・個別財務諸表と連結財務諸表 ・特定企業の情報開示の様式の確認 ・財務諸表の業種別特徴及び付加価値計算書の役割	
第3日	・会計方針の相違と業績評価 ・IFRSs（国際財務報告基準）と業績評価 ☆まとめと確認 —業績評価における会計処理基準のポイントを確認する—	
第4日	・総合指標による業績分析 ・P/L分析のための経営指標 ・B/S分析のための経営指標	
第5日	・キャッシュフロー計算書の分析とその意義 ・事業の種類別及び所在地別セグメント情報による業績測定の比較	

<p>第6日</p>	<p>・財務比率による総合的な業績評価の試み ☆まとめとプレゼンテーション —特定企業を対象とする経営分析のプレゼンテーションを行う—</p>
<p>テキスト 参考書等</p>	<p>【参考書】 ・『経営分析の新展開』石内孔治著（森山書店、2012年） ・『ゼミナール 現代会計入門』伊藤邦雄著（日本経済新聞出版社、2012年） ・『財務会計—財務諸表分析の基礎—』斎藤静樹 編著（有斐閣、2009年） ・『経営分析』青木茂男著（森山書店、2005年） ☆ 上記以外は、テーマごとに指示する。</p>
<p>その他 特記事項</p>	<p>【予習】 指示される特定企業の財務諸表を EDINET から入手し、当該会社の財務諸表の特徴を把握しておくこと。 【復習】 予習の対象企業と同業他社企業との比較・検討を行い、プレゼンテーションに結び付ける準備をしておくこと。</p>